

シンポジウムの見どころのご紹介

～シンポジウム開催の趣旨～

成年後見の現場では、専門職の人材不足が深刻です。そして高齢化の進展を考えれば、この人材不足というのはますます深刻化していくと思われま

す。この人材不足への対応策にはどのようなものが考えられるか、どうすれば持続可能な制度となるかを考えるシンポジウムです。



上山泰教授が登壇

シンポジウムでは基調講演とともにパネルディスカッションにもご登壇いただきます。「成年後見制度の在り方に関する研究会」における議論のご紹介もいただける予定です。



異なる立場から担い手不足の問題を捉える

パネルディスカッションには、司法書士、弁護士、行政職の方をお招きし、それぞれの立場から担い手の問題をどう捉えるかをご議論いただきます。



市民後見や法人後見を増やすにはどうしたらいいか

第二期成年後見制度利用促進基本計画において、市民後見人の育成・活躍支援や法人後見の担い手の育成は、「優先して取り組む事項」となっています。しかし、現実にはそれらの活躍は低調であることから、活性化の可能性についてご議論いただきます。



任意後見制度の利用促進はどうすれば図られるか

任意後見制度の利用促進は市民後見人や法人後見の育成と同じく、第二期成年後見制度利用促進基本計画において、「優先して取り組む事項」となっています。しかし、やはり利用は低調です。任意後見のあるべき姿をご議論いただきます。



～みなさまのご参加をお待ちしております～

